

22歳のベアテ・シロタ・ゴードンは、日本国憲法草案の人権条項作成にたずさわり、女性の権利を明記することに尽力した。

彼女の姿は、市民参加による自治基本条例の作成の雰囲気を感じさせるのである。

日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝

1945年のクリスマス

Beate Sirota Gordon  
ベアテ・シロタ・ゴードン  
平岡麻紀子 (編訳)

日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝

Beate Sirota Gordon  
ベアテ・シロタ・ゴードン  
平岡麻紀子 (編訳)

柏書房

## ライブリーな政治～討議デモクラシーの時代～

「市民の政治学～討議デモクラシーとは何か～」 篠原一

国家  
(政治システム)  
権力

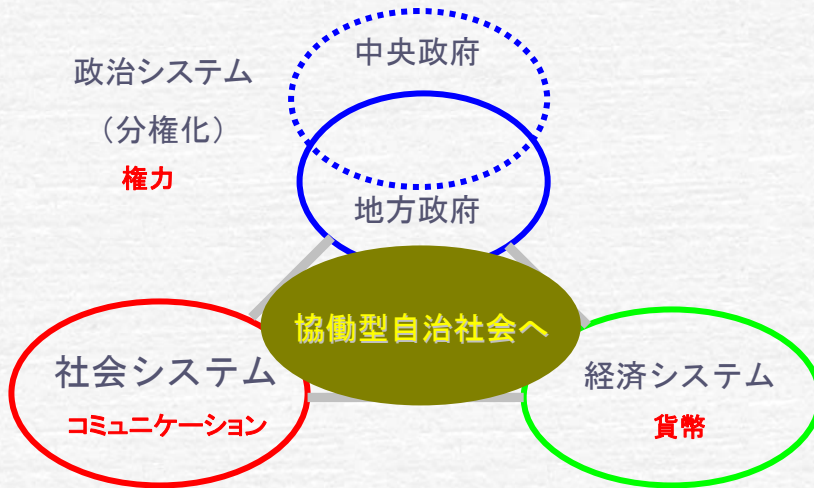
市民社会  
(社会システム)  
コミュニケーション

経済社会  
(経済システム)  
貨幣

三領域論で語られる市民社会論、市民社会の優位性が期待される。

## 分権改革がめざしたもの～サブシステムのバランス回復～

「自治基本条例はなぜ必要か」辻山幸直



セクター間の諸関係を設計し直して、地域社会を自分たちがコントロールできる仕組みに組み替える。

## 『ワールド・カフェ』による集合知の発見

### ①創始者

アニータ・ブラウン&デイビット・アイザックス

### ②はじまり

1995年1月、カリフォルニア州ミルバレーのアニータの自宅のリビングルームで偶然始まった。

### ③その後の展開

現在では、世界中で、何万人もの人々が参加している。  
1200人収容のホテルの大宴会場から十数名の参加者による居心地の良いリビングルームまで、様々な規模や方法でワールド・カフェ方式によるダイアログ文化が広がっている。

### ④ワールド・カフェ・コミュニティ

ワールド・カフェ普及のためのリーダーの組織